

9月19日・22日・24日

質問順に掲載しています。
また、内容は紙面の都合で要約しています。

市道拡幅申請について



櫻井勝延議員

問 市では、どのような必要性と優先性をもつて、県への申請を行ったのか伺う。

答 市道管理者として、24条協議が整ったということで、県へ道路法24条申請の協議、申請を行ったということです。市が拡張は必ずとした理由は何か伺う。



▲陳情状況（大蔵区長会）

問 かなりの部分が市有地です。共栄クリーンが買収したのが全てではない。市が拡張は必ずとした理由は何か伺う。

答 産廃処分場の搬入路、進入路について、最終的に市道森合小浜線を使うことになつた。開発行為の33条に区域外の道路と接続する必要があるときには規定があつて、今の市道では幅員が狭いので歩行者の安全を図るために歩道をつける計画になつた。

問 事業者にとって、このまでは認められないから、市

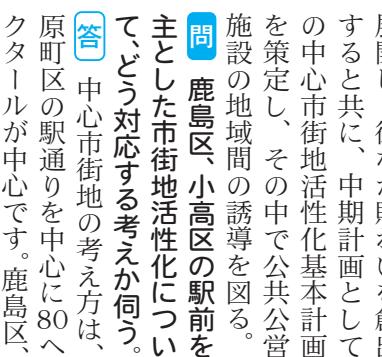
中心市街地の再生について



小林吉久議員

問 魅力のない所には集らないが、中心市街地の空洞化に見られる街なかの再生について伺う。

答 中心市街地の空洞化は本市だけではない。モータリゼーションの進展と消費者の生活様式の変化や郊外型専門店がシフトしたことによる。今後の対策としては、チャレンジショップや屋台村事業を



▲街なか風景（鹿島区）

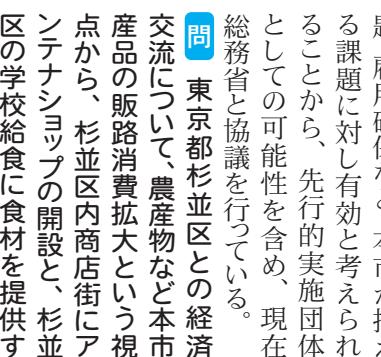
つなげよう、愛するまち



太田淳一議員

問 「定住自立圏構想」全ての市町村にフルセットの生活機能を整備するのは困難であることをから、中心市に圏域全体に必要な都市機能を集約的に整備し、周辺地域と連携・交流していくくという考え方に基づいた構想について、市の考え方を伺う。

答 本構想は、医師不足問



▲街なか風景（鹿島区）

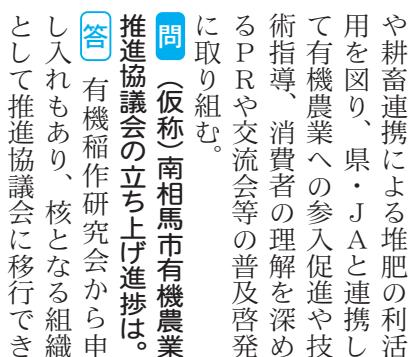
環境と観光交流と雇用拡大の施策



小川尚一議員

問 6月に閣議決定された「定住自立圏構想」全ての市町村にフルセットの生活機能を整備するのは困難であることをから、中心市に圏域全体に必要な都市機能を集約的に整備し、周辺地域と連携・交流していくくという考え方に基づいた構想について、市の考え方を伺う。

答 本構想は、医師不足問



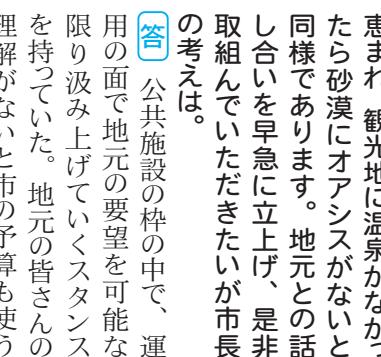
▲街なか風景（鹿島区）

牛島に温泉主体の施設建設を



西銃治議員

問 地元住民は早期実現を望んでいます。地元との合意不調により牛島整備事業申請断念した。市長の現在の心境は。地元要望に添つた温泉を主体とした施設を新たな交付金活用に見直し、牛島検討委員会も立て上げ進めました。しかし地元との合意に達せず断念せざるを得ないことは残念である。



▲街なか風景（鹿島区）

農林水産業の緊急対策を伺う



志賀稔宗議員

問 燃油、肥料、飼料高騰を防ぐため生産コストに着目した経営安定、技術確立対策を伺う。栽培体系や施肥体系の改善による資材等の削減、施設園芸での二重カーテン等の省エネ対策等、生産コスト低減の技術体系確立に向けJAや県と連携して推進する。



▲稲刈り作業

答 燃油、肥料、飼料高騰を防ぐため生産コストに着目した経営安定、技術確立対策を伺う。栽培体系や施肥体系の改善による資材等の削減、施設園芸での二重カーテン等の省エネ対策等、生産コスト低減の技術体系確立に向けJAや県と連携して推進する。

問 精飼料価格高騰により、生産コストが増大し畜産農家経営が圧迫されている。自給飼料の増産及び安定経営対策を

答 精飼料増産は機械設備、高齢化、労働力不足等があり容易ではない。緊急的に飼料基盤度の充実強化が重要である。JAからの要請もあり耕畜連携による飼料用米や稻穀粗飼料生産と利用拡大を支援したい。

問 粗飼料増産は機械設備、高齢化、労働力不足等があり容易ではない。JAからの要請もあり耕畜連携による飼料用米や稻穀粗飼料生産と利用拡大を支援したい。

問 飼料自給率向上のため耕畜連携による飼料用米や稻穀粗飼料生産と利用拡大を支援したい。

答 同う。JAからの要請もあり耕畜連携による飼料用米や稻穀粗飼料生産と利用拡大を支援したい。